

# 都市再生

推薦者  
**小浦 久子**  
(こら・ひこ)

大阪大学大学院工学研究科助教 工学博士。一九八一年大阪  
大学人間科学部卒業後、大阪商工会議所民間コンサルタント  
会社勤務を経て、九二年大阪大学助手、九八年より現職。専門  
は都市計画・環境デザイン。

ライター・B・ケラツシ

富田鞆彦・宮路真知子訳

林泰義監訳 —— 晶文社 一九九三年

都市は集まってすむかたちである。すむとは、住宅のことではない。都市  
のなかで時間を過ごす営みのことであり、仕事をすること、学ぶこと、遊ぶこ  
と、創造することなど、多様な営みがあり、それらが都市空間をかたちづくる。  
そこには、人と人、人と場所、場所と営みなど、様々な関係が生まれ、それら  
をつなぐ力があり、関係が調整されるところに公共性が現れる。いつも新し  
い仕事は新しい人と生活スタイルを場所に持ち込み、空間を変える。そこで  
あいさつや掃除、道や建物の使い方など、その場所での調整があつて、古い人と  
共有できる公共性が生みだされる。

本来、都市は人と場所と営みの関係のなかでかたちづけられるのであるが、  
いずれかが衰退していくとき、都市空間の荒廃となつて現れてくる。商店街の  
シャッター街、空室率の高いビル街などもその一つ。開発成長期には、その都市  
とは全く関係のない主体による不動産市場性だけに依拠するスクラップアンドビルド型の再開発であつ  
ても、新たな人や営みを呼び込むことで都市が元気になることがあつた。しかしそれは、都市が持続的  
に生き続けていくために、もはやそれほど意味がないことに気づくときである。

ジェイコブスが「アメリカ大都市の死と生」(一九六二)で指摘した、人と場所をつなぐ社会的ネットワ  
ークの必要と、近年、自律的な地域マネジメントのしくみとして紹介されるCDCS、JやB、D  
(2)、およびそれらの運営主体となるNPOの多様化とをつなぐ現実(リアリティ)がこの「都市再  
生」(一九八九)のなかにある。都市の再生は、すむことの再生である。



(1)コミュニティ開発組織(Community Development Corporation)のコミュニティ・アフォーダブル住宅の供給など地  
域環境の改善などの事業主体となるNPO。

(2)ビジネス・インフラ・サメント・ディストリクトの略で、州法にもとづき地域の自主管理が位置づけられた地区。  
主に商業地域などで地区内の土地所有者や事業者が資金を出し(分担し)、地区における安全の向上と  
環境整備および地区のアップグレード等を行う。

## from editor's room

CEL編集部が推薦する参考図書

- 『支えあう人と人 - ソーシャル・サポートの社会心理学』浦 光博 サイエンス社 (1992年)
- 『私の地元学 - 水俣からの発信』吉本哲郎 NECクリエイティブ(1995年)
- 『地域空洞化時代の行政とボランティア』新川達郎他 中央法規出版(1996年)
- 『NPO基礎講座 - 市民社会の創造のために』山岡義典 編 きょうせい(1997年)
- 『哲学する民主主義 - 伝統と改革の市民的構造』ロバート・パトナム(河田潤一訳) NTT出版(2001年)
- 『NPOによるセミフォーマルな犯罪統制 - ボランティア・コミュニティ・ commons』小宮信夫 立花書房(2001年)
- 『ボランティアの知 - 実践としてのボランティア研究』渥美公秀 大阪大学出版会(2001年)
- 『「まち育て」を育む - 対話と協働のデザイン』延藤安弘 東京大学出版会(2001年)
- 『市民と新しい経済学 - 環境・コミュニティ』福土正博 日本経済評論社(2001年)
- 『新版コミュニティ・ソリューション』金子郁容 岩波書店(2002年)
- 『ソーシャル・キャピタル - 豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めて』内閣府国民生活局(2002年)
- 『コミュニティ・ビジネス戦略 - 地域市民のベンチャー事業』藤江俊彦 第一法規出版 (2002年)
- 『人と人の「つながり」に投資する企業 - ソーシャル・キャピタルが信頼を育む』ドン・コーエン、ローレンツ・ブルサック(沢崎冬日訳) ダイアモンド社(2003年)
- 『コミュニティビジネスの時代 - NPOが変える産業・社会、そして個人』本間正明他 岩波書店(2003年)
- 『社会ネットワーク分析の基礎 社会的関係資本論にむけて』金光 淳 勁草書房(2003年)
- 『割れ窓理論による犯罪防止』G・L・ケリング、C・M・コールズ(小宮信夫監訳) 文化書房博文社(2004年)
- 『NPO入門』山内直人 日経文庫(2004年)
- 『現場からのコミュニティビジネス入門』園 利宗 連合出版(2004年)
- 『持続可能社会構築のフロンティア - 環境経営と企業の社会的責任(CSR)』天野明弘、大江瑞絵、持続可能性研究会 関西学院大学出版会(2004年)
- 『ソーシャル・キャピタル - 現代経済社会のガバナンスの基礎』宮川公男、大守 隆編 東洋経済新報社(2004年)
- 『自己組織性と社会』今田高俊 東京大学出版会(2005年)